



2019年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 小笠原 康正
 (JASDAQコード・9812)

問合せ先

役職・氏名 専務執行役員 小 山 直 樹
 TEL 0138-45-3911

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月期第3四半期におきまして、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせするとともに、2018年7月17日に公表しました2019年5月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失について

2019年3月29日に「連結子会社の合板製造工場閉鎖に関するお知らせ」で公表しておりました北見工場閉鎖に伴う損失額170百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正

2019年5月期通期連結業績予想数値の修正（2018年6月1日～2019年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 39,500	百万円 150	百万円 30	百万円 30	円 銭 4.75
今回修正 (B)	36,700	△150	△250	0	—
増減額 (B - A)	△2,800	△300	△280	△30	—
増減率 (%)	△7.1%	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2018年5月期)	39,362	△424	△479	△1,282	△202.93

3. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の実績に加え第4四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、2018年7月17日公表の通期連結業績予想を修正いたします。

業績予想の修正に至る主な要因は木材事業、住宅事業、建設事業および自動車関連事業の売上減少によるものであります。

木材事業は、フローリング部門においては東北・関東地区の公共工事減少、九州地区での競争激化等により、売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面につきましては、原材料価格の高騰による工事原価の増加、および売上高減少に伴う営業利益の大幅減少もあり当初予想を大きく下回る見込みです。

住宅事業は、新築戸建住宅の受注・販売および完工引き渡しは計画どおり推移しておりますが、マンション販売および新規事業が苦戦しており、売上高は当初見込みを下回る見込みです。利益面につきましては、新規事業の出店費用および売上高減少による利益減少を補いきれず当初予想を下回る見込みです。

建設事業は、受注数は前年同期比を上回っておりますが、大型工事がないことまた受注時期の遅れ等により通期での引き渡しが見込めず、売上高は当初見込みを下回る見込みです。利益面では、売上高の減少に伴い当初予想を下回る見込みです。

自動車関連事業は、メーカーの新型車投入がなかったことまたサービス在庫数の減少等があり、売上高は当初予想を下回る見込みです。利益面につきましては、在庫維持費が高止まるなど、当初予想を下回る見込みです。

以上を踏まえ、2019年5月期の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上